

1 日時 平成16年9月8日(水)第5校時

2 コース 3年選択 英語A 男子9名 女子7名 計16名

3 主題 過去形(文法事項の復習)

4 主題について

英語科における基礎・基本の定着を図るためには、文法事項などの言語材料についての理解や練習を行う活動とコミュニケーションを図る活動を行うことが必要である。生徒は必修教科の授業において1年生で一般動詞の過去形とその疑問文、応答について学習しているが、定着は充分ではない。そこで選択教科では、コミュニケーションを図る活動とともに1年生で学習した文法事項についての問題を解くことにより基礎・基本の定着を図れると考え本主題を設定した。

5 生徒について

英語学習に対する関心や意欲を持つ生徒がほとんどであるが、基礎・基本の定着が充分とはいえない生徒の中には意欲が持続しない生徒もある。4月上旬に行われたNRTでは全国比5段階評定で1が2名、2が8名、3が6名であった。また、NRT小問分析において(適語選択過去形)の問題が正解だった生徒は3名であり定着は不十分である。NRT領域別診断によれば読む力や書く力を高める必要がある。

6 主題の指導構想

本コースでは、1学年で学習した文法事項についての理解や練習を行う活動とコミュニケーションを図る活動を行い、基礎・基本の定着を図りたい。そのため授業の前半では共通課題を設定し、書き手の意向を読み取ったりその内容について問答したり述べ合ったりする活動を取り入れたい。授業の後半では文法事項についての問題を解く活動を取り入れたい。特に後半においては達成度診断のための小テストを行い、その結果に基づいて個別に学習課題を選択しすすめさせたい。

7 目標

- ・過去形を含む英文を読んで内容を理解することができる。
- ・過去形を用いて問答したり述べ合ったりすることができる。
- ・「文法事項」についての問題を解くことができる。

8 評価規準

[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]

- ・学習活動に意欲的に取り組もうとする。

[表現の能力]

- ・あるテーマについて問答したり述べ合うことができる。

[理解の能力]

- ・あるテーマについての英語の文章を読み内容を確かむことができる。

[言語や文化についての知識・理解]

- ・「文法事項」についての問題をとくことができる。

9 主題の指導計画

別紙「コース別指導計画」参照。本時16時間目。

10 本時の指導

(1) 本時の到達目標

- ア 夏休みのできごとについての文章を読み、内容を英語で述べることができる。
- イ 不規則動詞過去形についての問題を解くことができる。

(2) 本時の指導構想

本時では夏休みのできごとについての文章を読んだりその内容を伝えたりする活動を通して、コミュニケーション能力の基礎となる「語」や「文法事項」などの復習と定着を図りたい。また「過去形」についての問題を解くことにより、文法事項についての理解をふやしたい。そのため導入の段階では夏休みのできごとについて書かれた文章を聞き、次に展開の段階で詳しく読み取る活動を通して不規則動詞過去形の形や働きについて理解を図りたい。また読み取った内容を英語で述べる活動を通して過去形の定着を図りたい。さらに過去形についての診断テストを行いその結果に基づいて個別に学習課題を選択することを通して、可能な範囲で個に配慮しながら文法事項の理解を図りたい。

(3) 本時の評価の観点

- ア 夏休みのできごとについての文章を読み、内容を英語で述べることができたか。
- イ 不規則動詞過去形についての問題を解くことができたか。

11 本時の展開

段階	教師の働きかけ / 教材・教具	過程	生徒の学習活動	指導・支援の留意点 () 評価 ()
導入 10分	1 前時の学習内容を想起させる。 2 夏休みのできごとについてのテープを聞き教師の質問に答えるよう指示する。/ TR	課題把握	1 前時の学習内容を思い出し練習する。 Did you ~ ? Yes, I did. / no, I didn't. 2 テープを聞き教師の質問に日本語で答える。	前時の表現を思い出すことができたか。
夏休みのできごとを読み取り、英語で述べてみよう。				
展開	3 夏休みのできごとについて読み取りワークシートの質問に答えるよう指示する。/ ワークシート 4 不規則動詞の過去形の形と使い方について説明する。/ フラッシュカード・紙板書		3 夏休みのできごとについてさらに詳しく読み取りワークシートの質問に答える。 4 不規則動詞の過去形の形と使い方について説明を聞く。	ワークシートの質問に答えることができたか。

3 5 分	<p>5 読み取った内容を英語で述べるよう指示する。</p> <p>6 他の不規則動詞過去形の形を示し練習するよう指示する。</p> <p>7 診断テストを行い結果を参考に学習課題を選択し問題を解くことを指示する。/ 診断テスト・問題集・補充プリント</p> <p>8 自己採点をするよう指示する。</p>	課題 追 求	<p>5 読み取った内容を英語で述べる。</p> <p>6 他の不規則動詞過去形を想起し練習する。</p> <p>7 診断テストに取り組み自己の達成状況を知り学習課題を選択し問題を解く。</p> <p>8 自己採点をする。</p>	<p>夏休みのできごとを英語で述べることができたか。</p> <p>全文を言えない生徒には紙板書を手がかりとして発表させる。</p> <p>過去形についての問題を解くことができたか。</p> <p>机間巡視を行い生徒の疑問やつまずきに対応する。</p>
終 末 5 分	<p>9 次時の予告をし自己評価カードの記入を指示する。</p>	ま と め	<p>9 予告を聞き自己評価カードを記入する。</p>	

3年英語 選択 座席表

教卓

43 (3) K Y	29 (- 11) K O	36 (- 10) M S	35 (- 15) A K	36 (- 2) M T	47 (0) Y M
52 (9) M Y	50 (- 3) K F	52 (- 3) M S	36 (- 13) R M	34 (- 14) S K	48 (- 1) D K
	54 (- 4) T Y	41 (- 8) K S	43 (- 9) M I	36 (- 7) R S	

数字は平成16年4月実施NRT 教科偏差値(教科成就値)

評価規準表 英語（3年選択） ・ 「英語Bコース」

時 数	到達目標 (必修科目との関連)	具体的評価基準			
		コミュニケーションへの関心・意欲・ 態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1	自分に最も適したコースを選ぶことができる。				
2	プレテスト あいさつや自己紹介をすることができる。 (Book 1 W.P 1) 英文のきまりについての問題を解くことができる。	観察 / 挨拶や自己紹介をしようとする。 A 積極的に取り組もうとする。 B 取り組もうとする。	英作文 / 自己紹介の文章を書くことができる。 A 5文以上の文を書くことができる。 B 英文を書くことができる。		問題集 / 問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解くことができる。 B A問題を70%以上解くことができる。
3	絵や身の回りのものについて問答ができる。 (Book 1 Unit 2) This is not ~. Is this ~?の問題を解くことができる。		対話発表 / 絵や身の回りのものについて問答ができる。 A 5文以上問答ができる。 B 3文以上問答ができる。		問題集 / 問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解くことができる。 B A問題を70%以上解くことができる。
4	他の人について、紹介することができる。 (Book 1 Unit 2) He (She) is ~.の問題を解くことができる。		紹介の文 / 担任の先生を紹介する文を発表することができる。 A 3文以上発表することができる。 B 英文を発表することができる。		問題集 / 問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解くことができる。 B A問題を70%以上解くことができる。
5	相手について尋ねたり応答したりすることができる。 (Book 1 Unit 1) I am ~. You are ~.の問題を解くことができる。		インタビュー / 相手のことを尋ねることができる A 会話が途切れないようにたずねることができる。 B たずねることができる。		問題集 / 問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解くことができる。 B A問題を70%以上解くことができる。
6	人や物について様子を表現することができる。 (Book 1 Unit 2・Unit 4) 形容詞の問題を解くことができる			単語確認テスト / 様子を表す語の意味を答える A 10問中9問以上言える。 B 10問中7問以上言える。	問題集 / 問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解くことができる。 B A問題を70%以上解くことができる。

時 数	到達目標 (必修科目との関連)	具体の評価基準			
		コミュニケーションへの関心・意欲・ 態度	表 現 の 能 力	理 解 の 能 力	言語や文化についての知識・理解
7	兄弟(姉妹)の数をたずね、答えることができる (Book 2 Unit 5) 名詞の問題を解くことができる。		対話発表/数を尋ね答えることができる。 A 名詞の複数形を適切に用いたずねたり答えたりできる。 B 複数形を用いたずねたりこたえたりできる。		問題集/問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解くことができる。 B A問題を70%以上解くことができる。
8	中間の評価テスト 適切な代名詞を選ぶことができる。 (Book 1 Unit 8) 代名詞の問題を解くことができる。				問題集/問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解くことができる。 B A問題を70%以上解くことができる。
9	自分の紹介したい人について英語で書くことができる。		英作文/紹介のしたい人について文章を書くことができる。 A 5文以上の文を書くことができる。 B 英文を書くことができる。		
10	好きなものを述べたりたずねたりすることができる。 (Book 1 Unit 3) 一般動詞の問題を解くことができる。		対話発表/好きなものを述べたりたずねたりすることができる。 A 適切な速さや音量でDoを用いて問答ができる。 B Doを用いて問答ができる。		問題集/問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解くことができる。 B A問題を70%以上解くことができる。
11	自分と相手以外の人について一般動詞を使って述べるができる。 (Book 1 Unit 6) 三人称単数現在の文の問題を解くことができる。		ワークシート/第三者について一般動詞を用いて述べるができる。 A 正確に動詞にsをつけてのべることができる。 B 動詞にsをつけて述べるができる。		問題集/問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解くことができる。 B A問題を70%以上解くことができる。

時数	到達目標 (必修科目との関連)	具体的評価基準			
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
12	自分と相手以外の人についてたずねたり答えることができる。 (Book 1 Unit 6) does を含む疑問文や否定文の問題を解くことができる。		対話発表 / 第三者についてたずねたりこたえることができる。 A 正確に does をつかいもんどうができる。 B does を使いのべることができる。		問題集 / 問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解くことができる。 B A問題を70%以上解くことができる。
13	何をしているのかをたずねたり答えることができる。 (Book 1 Unit 9) 現在進行形の問題を解くことができる。		英作文 / 何をしているかをたずねたりこたえたりできる。 A 進行形の文が作れ正しく書くことができる。 B 進行形の文がつかれる。		問題集 / 問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解くことができる。 B A問題を70%以上解くことができる。
14	天候や時を表す表現を理解し表現することができる。 (Book 1 Words Plus Unit 7) it の特別な使い方の問題を解くことができる。			単語テスト / 曜日や月、数詞などの意味がわかり書くことができる。 A 90%以上できる。 B 70%以上できる。	問題集 / 問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解くことができる。 B A問題を70%以上解くことができる。
15	過去形を含む文章を読み取ることができる。 (Book 1 Unit 11) 規則動詞の過去形の問題を解くことができる。			ワークシート / 昨日のできごとについての文章を読み英語の質問にこたえることができる。 A 正確に答えることができる。 B 答えることができる。	問題集 / 問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解くことができる。 B A問題を70%以上解くことができる。
16	不規則動詞の過去形を使ってできごとを述べることができる。 (Book 1 Unit 11) 不規則動詞の過去形の問題を解くことができる。		発表 / A L T の夏休みの様子を述べる ことができる。 A 紙板書を見ずに述べる ことができる。 B 紙板書を手がかりに述べる ことができる。		問題集 / 問題を解くことができる。 A A問題を90%以上解く ことができる。 B A問題を70%以上解く ことができる。
17	ポストテスト 夏休みの出来事を中心にして A L T に手紙を書くことができる。		英作文 / 夏休みの出来事を含む文章を書くことができる。 A 5文以上の英語の文章を書く ことができる。 B 英語の文章を書く ことができる。		

